種智院大學
同窓會報

第42号　平成27年12月1日
種智院大学同窓会
〒612−8156 京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内
TEL(075)604-5600　FAX(075)604-5610
http://www.kechien.net
e-mail　info@kechien.net

平成27年度同窓会総会報告

○総会報告

平成27年度種智院大学同窓会総会は、６月11日（木）午後１時より母校の講義室401で開催された。今年は会員からの要望もあり、７月盆の時期より早めて６月の開催とし、大学の降誕会法要と同日に実施した。そのため午前中は法要に参列し、午後からの総会に出席され、在学生たちの修練の成果を見ることができたと好評であった。

はじめに村主康瑞学長の挨拶。高野山開創1200年の法要を、はじめて高野山大学と合同で営み、本学の学生たちの唱える声明が朗々たるもので、高野山大学の先生方も感心しておられ、地道な努力の大切さを実感したこと。大学の経営上の報告では、定員を削減することで文科省からの補助金が大幅に増額され、３年後には単年度黒字が見込めるようになったことなど、母校も明るさを取り戻しつつあることの報告。これからも厚いご支援を賜りたい旨を述べられた。

続いて物故者慰霊法要が営まれ、併せて本年３月30日に遷化された種智院大学第10代学長・名誉教授・頼富本宏先生や大覚寺元門跡・真言宗京都学園元理事長片山宥雄大僧正の追善が修された。

総会に入り、菅智潤会長（昭和47）が挨拶。出席者へのお礼に続いて、入学者の減少にともない会費収入が減少し、前年度会計において支出超過に陥ったことを報告。その対策として、支部活動の充実、会費制度の見直し、特別事業の実施など、会員各位のご協力を賜りたい旨を述べられた。

次に、杉﨑圓覚副会長（昭和54）を座長に選出し議事に入った。

【審議事項】

①平成26年度事業報告ならびに会計報告（会計監査報告を含む）について

資料にしたがって事務局から一年間の事業報告を説明。

次に会計の佐野剛空師（昭和60）より会計報告書について説明。およそ204万円の支出超過となったことを報告、また奨学事業にともなう収支差額処分案について述べられた。

引き続き事務局より会計収支の概要として、特別事業や奨学事業の収支差額を除去した支出超過は279万円に及ぶことが説明され、会計収支の実態が示された。

監査役の村岸定光師（昭和48）より会計監査の報告があり、本号議案は承認された。

②平成27年度事業計画ならびに予算について

資料にしたがい事業計画は事務局より、予算案は会計の佐野剛空氏（昭和60）より、それぞれ説明があった。特に予算案については、終身会費の減少にともない、会費制度を見直し会則の改正が完了するまでの間、運営協力金として会員より寄付を募ることとし、予算案にも計上されていることが述べられ、本件議案は原案通り承認された

③種智院大学支援について

従来より母校支援のための年間予算を50万円充当しており、今年度も同額計上はしてあるが、今年度の収支状況を見極めた上で、母校支援を行うこととした。

④その他

特に提案等なく、次の協議事項に移った。

【協議事項】

①支部活動の活性化

近畿支部を除く各地域支部は、休眠状態となっており、幹事支部長等の不在により、実質消滅状態にある。それらを活性化するため、本部としても名簿データから抽出提供や、ご案内作業等のお手伝いを行っていくこととした。卒業生の一人でも多くに母校愛を喚起していくことの重要性などが議論された。

②終身会費以外の同窓会の活動費

本会では通常の年間活動費として200万ないし250万円程度が必要であるが、大学の入学定員が30名となり、３万円の終身会費徴収では大幅に不足する。会費制度を見直すこととし、これからも特別事業を積極的に実施することとした。

③その他

特に提案等なく、次の報告事項に移った。

【報告事項】

①同窓会奨学金について

今年度は前期募集での応募は無く、また新入生においては前期試験の結果に基づいて、教授会からの推薦があるので、現段階での給付は決定していない。後期募集での応募により給付が審議されることとなる旨の経過説明があった。

②智山学生会同窓会から、当日おこなわれた降誕会法要出仕と、支部の近況について報告があった。

③同窓会ではメールマガジンが発行されているが、すでに460人を越える読者がメールアドレスを登録しており、支部活動や会員のニュース等があれば掲載できるので、是非情報をお寄せいただきたい旨、出席者に伝えられた。

以上をもって議事を終了。続いて講義室306において、作庭家・古川三盛先生の記念講演「庭のあれこれ」を拝聴。記念撮影は雨天のため講堂に変更になり、その後バスで京都センチュリーホテルに移動して懇親会。今年は日程が綜芸種智院教育後援会の総会とも同日であったため、懇親会は合同で実施することとなり、例年に増して多彩な人びとの参加があり、かなりの盛会となった。

教育後援会の上村貞郎会長、同窓会の菅智潤会長ならびに村主康瑞学長の挨拶、古川三盛先生に乾杯のご発声をいただき祝宴に入った。最後は来年の再会を約して全員で学生歌を斉唱し、和やかな内に散会した。

平成27年度種智院大学同窓会総会出席者

卒年	氏　名	卒年	氏　名	卒年	氏　名	卒年	氏　名
昭23	手塚　利貞	昭59	橋本江理子	平13	福澤　隆雅	賛助	松本　純子
昭36	上村　貞郎	昭60	佐野　剛空	平14	海老原真紀	賛助	吉水　仁
昭36	大塚　聖純	昭60	白川　密峰	平14	鈴木　尚史	賛助	古川　洋一
昭47	菅　智潤	昭60	武村　尚史	平18	浦田　純子	賛助	盛重由佳理
昭47	都筑　大乗	昭60	南　本源	平18	山中　弘道	賛助	中山　類
昭48	村岸　定光	昭60	吉田　大治	平19	森本　勇	賛助	春日　愛
昭51	國定　道晃	昭60	渡邊　恭章	平22	田中　浩彰	賛助	南保　智香
昭51	上原　雅明	昭62	山下　高仙	平22	谷口　彰	賛助	岡田　道尚
昭51	内山　仁空	平01	岡野　良範	賛助	村主　康瑞	学生	小山　達之
昭54	杉﨑　圓覚	平01	溪村　真司	賛助	児玉　義隆	学生	松原　勇太
昭54	新見　和言	平04	長岡　誠宏	賛助	佐伯　俊源	学生	松村優姫奈
昭55	上田　霊宣	平08	沖田　憲信	賛助	左右田昌幸	教育後援会	平岡　宏一
昭55	長谷　法寿	平08	湯通堂法姫	賛助	松本　峰哲	教育後援会	谷内　弘照
昭56	北尾　隆心	平09	鈴木　弘昭	賛助	早川　道雄	教育後援会	麻生　紀雄
昭57	宇垣　泰明	平10	石本　隆芳	賛助	小寺　鐵也	来賓	古川　三盛
昭57	里　笑美子	平12	相川　孝純	賛助	宮城洋一郎		
昭57	新垣かほる	平12	SHAKYA Sudan	賛助	川崎　明仁		

会長挨拶

種智院大学同窓会会長　菅　智潤

種智院大学同窓会会員の皆様におかれましては、日々ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

先日の東北地方の水害をはじめ、台風等の災害により被災されました方がたには、心よりお見舞い申し上げますとともに、残念ながら亡くなられましたお方には、謹んでお悔やみ申し上げます。

現在同窓会では、種智院大学に入学された方がたから、終身会費を頂戴して運営しておりますが、近年の入学者数の減少により、会費収入も減少しております。とくに昨年度は、収入に対しての支出超過となってしまいました。現在は、どうにか維持しておりますが、このまま続けば会の存続自体が危うくなってしまいます。

この対策として、今回から同窓会運営協力金をお願いいたしたいと思います。そして、各地方の支部活動の活性化と充実、また、会費制度の見直しなども検討されています。近畿支部のほか、智山派のOB会支部も順調に活動しておりますが、京都などでも復活の兆しが出ており、さらに社会福祉学科同窓会の結成の動きもございます。各地でより盛んになっていただければと思うところであります。

同時に、特別事業も鋭意展開する予定です。今年は、身近でよく使用される諸作法の伝授の方向で進んでおります。詳細は決まり次第事務局からご案内を差し上げたいと思いますので、奮ってご参加いただきたく存じます。

また、大学では、小口の学校債を発行するようにいたしました。「学校債募集要項」を同封させていただきましたので、会員の皆様もできる限りご協力いただければ有り難く存じます。大学の法人事務室にお問い合わせいただければ、詳しくご案内させていただきます。同時に、入学試験の制度が変更になり、宗門だけでなく家族・親族からの推薦もできるようになりました。一人でも多く、ご子弟や有縁の方々にご案内いただき、新入生を殖やしていただきたいと思います。そのことが将来の同窓会の発展にもつながってまいります。

なお、大学運営につきましての朗報は、村主学長のご尽力に依り、経営本山が以前より7ヵ寺増えた事であります。

今後の大学興隆策としては、来る平成35年に迎える弘法大師御誕生1250年記念事業の１つとして、経営本山の専修学院及び種智院大学充実の予算を計上すべきだと考えております。同窓生各位もこの点を所属本山の宗会議員、支所長さん方に強く提言していただきたいと思います。

会員の皆様方も、智恵と、時間と、経済面でのご支援を賜り、どうぞ母校の存続、安泰にご協力賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

学長挨拶

種智院大学学長　村主　康瑞

種智院大学同窓会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本学の教育振興に対しご高配をいただき厚くお礼申しあげます。

今年は天災が多発し、被災された方々も多く、残念ながらお亡くなりになられた方にはこころよりお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々にはお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。

さて、今年度の始めに、高野山開創1200年法会が催され、本学も高野山大学と合同で中曲理趣三昧法要を執行いたしました。これには学生・教職員・保護者など、合わせて150名近くの方がたとご一緒に参拝いたしました。ことに同窓会からも多数のご参加をいただき、大変ありがとうございました。法要は、学生中心で出仕してもらいましたが、本学の学生諸君は、他とくらべても決して遜色のない、立派な法要を勤め上げてくれました。高野山大学様からは、参加した人数もさることながら、声明のみごとさに「種智院大学はすごいですね」と過分な称賛をいただきました。これもひとえに、平素ご指導いただいている潮教授をはじめ、教職員、なによりも学生たちの地道な努力の賜物と、ひとしお感じ入りました。

また、ご心配をおかけしております、大学の経営ですが、文部科学省の指導を仰ぎ、定員を削減することにいたしました。一見矛盾しているようですが、そうすることにより定員充足率を満たすことに近づき、国からの補助金が大幅に増額されるみこみです。これによって３年後には単年度黒字がのぞまれるようにまでなりました。とても明るい展望が見えてきて、母校も活気を取り戻しつつあります。

さらに、今年の同窓会総会は、種智院大学の弘法大師・興教大師降誕会法要と同日に開催していただき、法要にも多数の卒業生が随喜でご出仕してくださいました。懇親会は、綜藝種智院教育後援会と合同で開催しましたところ、総勢50名以上という、近年にない盛会でした。

そして今年度は、松本教授を中心に臨床密教センターを大学に設立し、臨床宗教師の育成をめざして、その第一歩を踏み出しました。超高齢化社会の中で、宗教と福祉の両面からこの問題に取り組んで行く所存です。センターの開設を記念して、公開講座をおこなっておりますが、こちらも多数の来聴をいただき、改めて関心の高いことを知りました。とくにこちらは、宗門よりは近隣の方々のご参加が多く、大学が地元にも根を下ろしつつあることを実感しています。

このように、大学は教職員一丸となって鋭意努力しております。同窓生の皆様方からも、さらにいっそうご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

合掌

平成26年度事業報告・決算諸表

種智院大学同窓会　平成26年度事業報告書

1．平成26年度　第66回入学宣誓式
　日　時　平成26年４月１日（火）10時
　場　所　種智院大学　講堂
　入学記念品　学生歌ＣＤ（35名）

1．智山学生会同窓会総会･懇親会
　日　時　平成25年４月10日（木）17時
　場　所　リーガロイヤルホテル

1．会計監査
　日　時　平成26年６月24日（火）
　場　所　種智院大学　研究室420（同窓会事務局）

1．平成26年度　近畿支部総会・懇親会
　日　時　平成26年６月29日（木）19時00分
　場　所　すたんど割烹日本（大阪市中央区）

1．幹事会（第１回）
　日　時　平成26年７月３日（木）11時
　場　所　種智院大学　第２会議室

1．幹事会（第２回）
　日　時　平成26年７月17日（木）11時
　場　所　種智院大学　第１会議室

1．物故者慰霊法要
　日　時　平成26年７月17日（木）13時00分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．総会
　日　時　平成26年７月17日（木）13時10分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．記念講演
　日　時　平成26年７月17日（木）15時00分
　場　所　種智院大学　講義室306
　演　題　種智院大学の将来展望－種智院大学を診断して－
　講　師　石渡嶺司　先生

1．懇親会
　日　時　平成26年７月17日（木）17時30分
　場　所　新・都ホテル

1．平成26年度種智院大学同窓会奨学金給付
　日　時　平成26年８月28日（木）（１名）

1．平成26年度種智院大学同窓会奨学金給付（第２次）
　日　時　平成26年12月19日（金）（２名）

1．会報発行
　41号　平成26年12月1日

1．特別事業
　臨床スピリチュアルケア学と臨床宗教講座
　　第１回「仏教と臨床」
　　日　時　平成27年2月9（月）
　　場　所　種智院大学　講義室204
　　受　者　63名
　　講　師　大下大圓　先生
　　（高野山大学客員教授、飛騨千光寺住職
　　第２回「観察、洞察瞑想の理論と実習」
　　日　時　平成27年3月4（水）
　　場　所　種智院大学　講義室204
　　受　者　63名
　　講　師　大下大圓　先生
　　（高野山大学客員教授、飛騨千光寺住職

1．執行部役員会
　日　時　平成27年2月25日（水）18時00分
　場　所　東天紅

1．平成26年度　第63回卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成27年３月14日（土）10時
　場　所　種智院大学　講堂
　同窓会長賞　記念品（２名）
　卒業記念品　腕輪念珠・学生歌ＣＤ・会報41号（22名）

貸　借　対　照　表（平成27年3月31日現在）

種智院大学同窓会（単位、円）

科目	金額		科目	金額	
Ⅰ資産の部			Ⅱ負債の部		
現　金	0		未払金	0	
預　金	17,570,548		負債合計		0
学校債	20,000,000		Ⅲ正味財産の部		
資産合計		37,570,548	前期繰越正味財産	31,215,104	
			奨学事業積立金	8,399,924	
			当期正味財産増加額	△ 2,044,480	
			正味財産合計		37,570,548
		37,570,548			37,570,548

収　支　計　算　書

自、平成26年4月1日　　至、平成27年3月31日
種智院大学同窓会（単位、円）

科　目	予算額	決算額	差　異	備　考
Ⅰ収入の部				
会費収入	1,050,000	990,000	△ 60,000	@3万×33名
寄付金収入	0	56,000	56,000	
会議会合等協力金		33,000	33,000	
雑収入	5,000	2,406	△ 2,594	受取利息等
総会事業収入	240,000	271,000	31,000	
奨学事業収入	1,101,000	1,059,650	△ 41,350	
特別事業収入	6,100,000	1,588,016	△ 4,511,984	臨床スピリチュアルケア学と臨床宗教講座
当期収入合計（A）	8,496,000	4,000,072	△ 4,495,928	
前期繰越収支差額	11,215,104	11,215,104	0	
収入合計（B）	19,711,104	15,215,176	△ 4,495,928	
Ⅱ支出の部				
１．事業費	［ 6,365,000］	［ 4,485,125］	［△ 1,879,875］	
総会事業費	1,335,000	1,145,680	△ 189,320	
会報発行費	560,000	605,579	45,579	
奨学事業支出	1,220,000	613,156	△ 606,844	@200,000×3名に支給
卒業記念事業費	70,000	54,819	△ 15,181	卒業生記念品、会長賞賞状及び記念品
ＩＴ事業費	260,000	254,557	△ 5,443	ウェブサイト制作運営費
特別事業支出	2,420,000	1,288,408	△ 1,131,592	
母校支援事業費	500,000	522,926	22,926	図書館用パソコン、その他
２．管理費	［ 1,530,000］	［ 1,559,427］	［ 29,427］	
事務委託費	50,000	50,000	0	大学へ事務手数料
業務委託費	120,000	114,264	△ 5,736	会員情報管理業務
印刷製本費	50,000	0	△ 50,000	
通信費	100,000	77,289	△ 22,711	郵送費、電話代等
消耗品費	120,000	75,333	△ 44,667	
人件費	500,000	569,260	69,260	
旅費交通費	200,000	330,570	130,570	
会議費	150,000	257,696	107,696	会議諸費用ならびに録音反訳等
接待交際費	20,000	0	△ 20,000	
慶弔費	200,000	84,621	△ 115,379	
雑費	20,000	394	△ 19,606	
３．予備費	［ 500,000］	［ 0］	［△ 500,000］	
予備費	500,000	0	△ 500,000	
当期支出合計（C）	8,395,000	6,044,552	△ 2,350,448	
当期収支差額(A)-(C)	101,000	△ 2,044,480	△ 2,145,480	
次期繰越収支差額(B)-(C)	11,316,104	9,170,624	△ 2,145,480	

平成26年度会計監査報告書

平成26年度決算諸表を別紙のとおり報告します。
平成27年５月26日
種智院大学同窓会事務局　宇垣泰明
種智院大学同窓会事務局　坂野岡堂

別紙報告書に対し精査の結果、種智院大学同窓会の会計処理が、適正に執行されていることを認めます。
平成27年５月26日
種智院大学同窓会　監査
種智院大学同窓会　監査

収支差額処分案

前期繰越収支差額	11,215,104 円
当期収支差額	△ 2,044,480 円
計	9,170,624 円

上記金額を次の通り処分する。

１.奨学事業積立金	446,494 円
２.次期繰越収支差額	8,724,130 円
計	9,170,624 円

平成27年度事業計画・予算書

種智院大学同窓会　平成27年度事業計画書

1．平成27年度　第67回入学宣誓式
　日　時　平成27年４月１日（火）10時
　場　所　種智院大学　講堂
　入学記念品　学生歌ＣＤ（36名）

1．智山学生会同窓会総会･懇親会
　日　時　平成27年４月23日（木）18時
　場　所　燕楽

1．会計監査
　日　時　平成27年５月26日（火）
　場　所　種智院大学　研究室420（同窓会事務局）

1．幹事会
　日　時　平成27年６月11日（木）11時
　場　所　種智院大学　第１会議室

1．物故者慰霊法要
　日　時　平成27年６月11日（木）13時00分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．総会
　日　時　平成27年６月11日（木）13時10分
　場　所　種智院大学　講義室401

1．記念講演
　日　時　平成27年６月11日（木）15時00分
　場　所　種智院大学　講義室306
　演　題　庭のあれこれ
　講　師　作庭家　古川三盛　先生

1．懇親会
　日　時　平成27年６月11日（木）18時00分
　場　所　京都センチュリーホテル

1．平成27年度　近畿支部総会・懇親会
　日　時　平成27年７月５日（日）19時00分
　場　所　すたんど割烹日本（大阪市中央区）

1．平成27年度種智院大学同窓会奨学金給付（第２次）
　日　時　平成27年11月ごろ（４名）*

1．平成27年度種智院大学同窓会研究助成金給付
　日　時　平成27年11月ごろ（２名）*

1．会報発行
　42号　平成27年11月ごろ

1．特別事業
　伝授または講伝
　　日　時　平成27年10月ごろ・平成28年２月ごろ
　　場　所　種智院大学
　　講　師　未定

1平成27年度　第64回卒業証書・学位記授与式
　日　時　平成28年３月15日（火）10時
　場　所　種智院大学　講堂
　同窓会長賞　記念品（２名）
　卒業記念品　腕輪念珠・学生歌ＣＤ・会報42号（32名）*

＊は予定

収　支　予　算　書

自、平成27年4月1日　　至、平成28年3月31日

種智院大学同窓会
（単位、円）

科　目	予算額	前年度予算額	増　減	備　考
Ⅰ収入の部				
会費収入	1,050,000	1,050,000	0	@3万×35名
維持運営協力金	1,000,000	0	1,000,000	
雑収入	2,000	5,000	△ 3,000	受取利息等
総会事業収入	(240,000)	(240,000)	(0)	
懇親会費収入	240,000	240,000	0	@8,000×30名
奨学事業収入	(1,001,000)	(1,101,000)	(△ 100,000)	
寄付金収入	1,000,000	1,100,000	△ 100,000	
雑収入	1,000	1,000	0	受取利息等
特別事業収入	(8,160,000)	(6,100,000)	(2,060,000)	
受講料教材費収入	8,050,000	6,000,000	2,050,000	
協賛寄付金	85,000	60,000	25,000	出店販売協賛金
雑収入	25,000	40,000	△ 15,000	駐車徴収金等
当期収入合計（A）	11,453,000	8,496,000	2,957,000	
前期繰越収支差額	8,724,130	11,215,104	△ 2,490,974	
収入合計（B）	20,177,130	19,711,104	466,026	
Ⅱ支出の部				
1．事業費	[9,515,614]	[6,365,000]	[3,150,614]	
総会事業費	(1,145,614)	(1,335,000)	(△ 189,386)	
講師謝礼	100,000	150,000	△ 50,000	記念講演、交通費込
懇親会支出	360,000	350,000	10,000	会場費、料飲代等
印刷製本費	304,614	410,000	△ 105,386	案内状等印刷
通信費	196,000	240,000	△ 44,000	案内状、返信はがき送料
人件費	140,000	140,000	0	教職員、アルバイト等
旅費交通費	35,000	35,000	0	会場移動バス費用等
雑費	10,000	10,000	0	支払手数料等
会報発行費	(610,000)	(560,000)	50,000	
印刷製本費	410,000	360,000	50,000	
通信費	200,000	200,000	0	発送料
奨学事業支出	(1,220,000)	(1,220,000)	(0)	
奨学給付金	800,000	800,000	0	@20万×4名
研究助成金	400,000	400,000	0	２件に助成
雑費	20,000	20,000	0	払込料金、支払手数料等
卒業記念事業費	(70,000)	(70,000)	(0)	
記念品費	70,000	70,000	0	会長賞、記念品代
ＩＴ事業費	(260,000)	(260,000)	(0)	
サイト運営費	260,000	260,000	0	同窓会ウェブサイト
特別事業支出	(5,710,000)	(2,420,000)	(3,290,000)	
講師謝礼	2,040,000	200,000	1,840,000	交通費・宿泊費を含む
資料教材費支出	240,000	100,000	140,000	テキスト等購入
会場費及び賃借料	350,000	100,000	250,000	
給食費	510,000	150,000	360,000	受講者昼食
広報費	200,000	100,000	100,000	
印刷製本費	900,000	800,000	100,000	次第テキスト等印刷
通信費	240,000	240,000	0	伝授案内、受者連絡
荷造送料	10,000	10,000	0	
消耗品費	50,000	20,000	30,000	
業務委託費	50,000	400,000	△ 350,000	印信等筆耕
接待交際費	60,000	100,000	△ 40,000	
人件費	25,000	80,000	△ 55,000	受付ｱﾙﾊﾞｲﾄ等
旅費交通費	1,000,000	100,000	900,000	
会議費	15,000		15,000	
雑費	20,000	20,000	0	支払手数料等
母校支援事業費	(500,000)	(500,000)	(0)	
寄贈品支出	500,000	500,000	0	
2．管理費	[1,560,000]	[1,530,000]	[30,000]	
事務委託費	50,000	50,000	0	事務代行手数料（大学）
業務委託費	120,000	120,000	0	会員情報管理業務
印刷製本費	20,000	50,000	△ 30,000	
通信費	100,000	100,000	0	
消耗品費	80,000	120,000	△ 40,000	
人件費	600,000	500,000	100,000	
旅費交通費	200,000	200,000	0	役員会交通費等
会議費	150,000	150,000	0	
接待交際費	20,000	20,000	0	
慶弔費	200,000	200,000	0	
雑費	20,000	20,000	0	支払手数料その他
3．予備費	[500,000]	[500,000]	[0]	
予備費	500,000	500,000	0	
当期支出合計（C）	11,575,614	8,395,000	3,180,614	
当期収支差額（A）-（C）	△ 122,614	101,000	△ 223,614	
次期繰越収支差額（B）-（C）	8,601,516	11,316,104	△ 2,714,588	

聖教の頒布

これまで同窓会特別事業で作成した聖教の余剰分について、以下の通り頒布いたします。

頒布聖教

No.	聖教名	頒価
1	石山寺相承　保寿院流聖教	48,000 円
2	結縁灌頂声明集　※残部僅少	10,000 円
3	具支灌頂式 延命院・伝法灌頂三巻式 野沢通用式（長谷寶秀師写本）	15,000 円
4	伝法灌頂『野沢通用式』概説（甲田宥吽師著）	3,500 円
5	三宝院流　属星供・北斗供・護摩次第　３帖１帙	15,000 円
6	西院流　属星供・北斗供・護摩次第　３帖１帙	15,000 円

※お申し込み・在庫のお問い合わせは同窓会事務局まで、お願い致します。

「特別推薦」開始します！

平成 28 年 4 月入学に向けた入学試験が始まっています。今年から「特別推薦」を新設し、真言宗寺院のご住職をはじめ、同窓生からの推薦を得て受験することも可能となりました！

出願時に、本学所定の推薦状を添付していただくだけで、どの入学試験にも適用できます。3 年次編入学を希望する方も利用していただくことができるようになりました。ぜひこれを利用して、多くのご家族、関係者の方へ母校をご紹介いただき、仏教と福祉の実践を志す種智院学生の輪を広げましょう。

特別推薦には２種類あります

ファミリー推薦	宗門関係者推薦
本学の在学生または卒業生を三親等（父母・兄弟姉妹・祖父母・叔父叔母・甥姪）以内に持ち、その人から推薦を得られる方が対象です。	真言宗寺院住職から推薦をいただくものです。ご住職の推薦状を出願時に添付します。寺院後継者に限らず、どなたでも受験できます。

○被推薦者の志望学科、また檀信徒、宗派は問いません。
○希望する入学試験の出願書類に推薦状を同封します。
○社会人入試や編入学試験の志願者も対象となります。
○「特別推薦」を利用すると、すべて専願扱いになります。

兄弟姉妹学費減免制度

ご存知でしたか？生計を同じくする兄弟姉妹が本学に同時に在籍される場合、先に入学している兄弟姉妹の学費を半額減免いたします。この制度をぜひご活用ください。

資料配布中。お問い合わせ・資料請求は教務課入試担当まで。
種智院大学　教務課入試担当　TEL 075-604-5600

臨床密教センターの開設と臨床宗教師

平成 27 年 4 月に新しく臨床密教センターを設置しました。臨床医師が患者を治療し、同時に医師自身も患者から学ぶように、密教、そして宗祖弘法大師空海の精神を受け継ぐ種智院大学に属する者として様々な人々の苦しみに向き合い、同時に我々も学ばせていただく、それが「臨床密教」であり、その拠点でありたいとの想いからセンターを開設しました。

センターのプロジェクトの一つとして、来年度からの臨床宗教師養成講座の開講を計画しています。臨床宗教師は、死への不安や愛する人を失った喪失感といった様々な悲嘆に苦しむ人々に対して、特定の宗教や宗派にかかわらず、また布教伝道をすることもなく、公共性のある立場からの専門的、そして宗教的心のケアを行うことのできる宗教者のことで、2011 年 3 月の東日本大震災を体験し、また本人も末期癌で余命宣告を受けた宮城県にある岡部医院の医院長であった故岡部健医師によって提唱されました。欧米では臨床にかかわる宗教者として、教会や寺院などには属さず、病院や軍隊など人の生死に関係する場所で患者や遺族の心のケアに携わるチャプレンと呼ばれる人々が活動しています。臨床宗教師はこのチャプレンの日本版を目指しています。

現在東北大学を初めとして龍谷大学、高野山大学等で養成講座が開設されていますが、本センターに於いては特に密教の精神を柱として真言宗の僧侶として揺るぎない信仰を持ちつつ、同時に超宗教的・超宗派的活動のできる臨床宗教師の養成を目指しています。

同窓会の皆様には今後同センターの活動に注目して頂くとともに御指導・ご鞭撻を頂き、また様々な面でご援助を頂ければ幸いです。改めまして、臨床密教センターを今後共よろしくお願い申し上げます。

臨床密教センター長　松本峰哲

会員消息

平成26年10月31日現在

慶事　心からお慶び申し上げます

池上裕典様(平成17年)	平成26年11月御結婚
木村宗弘様(平成20年)	平成26年11月御晋山
鈴木隆雄様(平成25年)	平成26年12月御晋山
村上泰教様(平成17年)	平成27年 4月御結婚
岡田隆弘様(平成25年)	平成27年 5月御晋山
中津知里様(平成20年)	平成27年 9月御結婚
加賀俊裕様(学生)	平成27年10月御結婚
今野本證様(平成2年)	平成27年10月御結婚
中江本隆様(平成5年)	平成27年10月御結婚

弔事　謹んでお悔やみ申し上げます

奥野隆喜師(平成7年)	平成27年 1月御遷化
岡崎厚道師(昭和38年)	平成27年 3月御遷化
頼富本宏師(前学長･賛助)	平成27年 3月御遷化
片山宥雄師(昭和19年)	平成27年 5月御遷化
山本隆弘師(昭和25年)	平成27年 8月御遷化
日下部快純師(昭和58年)	平成27年10月御遷化

頼富本宏種智院大学前学長略歴

種智院大学前学長で名誉教授の頼富本宏先生は平成27年３月30日世寿71歳を以て御遷化されました。鴻恩に感謝しつつ心よりお悔やみ申し上げます。

頼富先生は、神戸・実相寺開山頼富本信大僧正のご長男として昭和20年４月ご誕生になり、神戸高校から京都大学に進み、長尾雅人先生、梶山雄一先生、牧田諦亮先生などの碩学から仏教学の薫陶を受けられ、昭和48年３月京都大学大学院博士課程(仏教学)単位取得満期退学されました。

この間、昭和34年７月戒師木田宥岳和上に従い剃髪、昭和42年８月７日淡路・万福寺道場で高見寛恭大阿闍梨に従い三宝院流憲深方にて四度加行を成満、昭和43年12月醍醐寺三宝院道場で細川英道大阿闍梨に従い三宝院流憲深方の伝法灌頂に入壇されました。

種智院大学では、昭和48年４月仏教学部専任講師としてご着任以来、最後まで教壇にお立ちいただきました。昭和51年助教授、昭和54年11月真言宗京都学園評議員、昭和56年４月教授、昭和63年４月真言宗京都学園理事、平成４年４月仏教学部学部長と要職を歴任され、平成10年４月国際日本文化研究センター教授に移籍されてからも、客員教授としてお越しいただき、平成14年４月１日からは第10代学長として８年間お勤めいただきました。平成22年に退職後も名誉教授、密教資料研究所所長として、後進の育成と研究に勤しまれました。

先生の教えは、高度な教義を初心者にもわかりやすく解説されることで定評があり、研究論文だけではなく、平易な文章で著書を数多く刊行されました。

一方で伝授にも努められ、高見寛恭・加藤宥雄・上田霊城・松長有慶といった碩学から多くの法流・経軌等を受法されました。

また宗門にあっては、師父頼富本信大僧正の跡を継ぎ、昭和57年以来神戸・実相寺第２世として法灯を護持されました。

先生は文献だけではなく、仏像や遺跡の資料に基づく密教図像学という、新たな学問分野を拓かれました。また伝統宗学と現代密教学を融合させ、あらたな内容で曼荼羅講伝なさいました。これからますますのご活躍が期待されたところでしたが、残念ながら密厳浄土へと旅立たれました。先生のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

片山宥雄大僧正略歴

種智院大学同窓会顧問で、元真言宗長者、元真言宗京都学園理事長、元真言宗大覚寺派管長・大本山大覚寺門跡片山宥雄大僧正は、平成27年５月14日、世寿97歳をもって御遷化されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

片山大僧正は、大正８年３月20日広島県生まれで、昭和19年京都専門学校(現・種智院大学)卒業。昭和５年３月29日龍池密雄和上に従い福山明王院道場において得度、昭和19年８月28日京都教王護国寺道場にて金田元成阿闍梨に従い三宝院流により四度加行成満、昭和19年９月10日京都教王護国寺にて日下義禅阿闍梨に従い伝法灌頂に入壇されました。

昭和21年寒水寺晋山、昭和32年福山明王院に晋住後は、明王院の国宝五重塔・本堂の全面解体修理諸堂修復、寒水寺梵鐘鋳造・鐘楼建立、諸堂修復と、それぞれの寺の復興整備に努められました。

大覚寺派内にあっては、昭和49年から宗会議員宗会議員８年(内議長５年)、昭和57年から大覚寺派宗務総長・大本山大覚寺事務長を５年間勤められ、平成９年12月から17年11月まで大本山大覚寺第60世門跡・真言宗大覚寺派管長。この間、平成16年には御七日御修法大阿・真言宗長者に任ぜられました。

また平成11年から４年間、真言宗京都学園理事長にも就任、種智院大学・洛南高等学校の発展振興にも尽力され、平成12年には前年に京都市伏見区向島に移転した種智院大学の真キャンパスに、同窓会が一丸となって勧募して施入した本尊大日如来の入仏開眼法要にあたっては、威風堂々と大導師をお勤めいただきました。

いっぽう地元では福山市仏教会会長、広島県家庭裁判所福山支部調停委員、NHK福山文化センター写経講座講師等を務めるなど様々な方面で活躍されました。宗団発展・寺門興隆のみならず地域社会の貢献も大きく、温厚篤実な人柄で、にこやかな笑顔は檀信徒から「御前さんスマイル」として大変慕われており、宗内外の人望も厚く、その遷化が惜しまれています。

入学試験のご案内

■入試トピックス

宗門関係者入試が新しくなりました！

新設の「特別推薦」により、従来の宗門関係者入試では1年次からの入学者が対象でしたが、社会人入試や3年次編入の編入学試験にも適用できるようになりました。真言宗寺院のご住職の推薦をいただける方であれば、被推薦者は寺院後継者に限らず、宗派も問いません。

同窓生のご家族をご推薦ください。

「特別推薦」には「ファミリー推薦」も新たに設け、志願者の三親等（父母・兄弟姉妹・祖父母・叔父叔母・甥姪）以内に本学の在学生または卒業生を持つ方が対象で、本学所定の推薦状が必要となります。

1年次生からでも奨学金給付！（返還不要）

一般入試１・2、センター試験利用入試合格者で、成績優秀者には入学後に奨学金を給付。
第1種：72万円　第2種：36万円　第3種：20万円　　※一般入試２は第３種のみ適用

3月まで入試を実施。

AO入試、一般入試、編入学試験等を３月まで実施しています。
夢をかなえるチャンスを有効に活用してください。

■平成 28 年度種智院大学入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切
一般入試１ 社会人入試４ 編入学試験４	1/ 7（木）～ 1/25（月）	1/30（土）	2/ 6（土）	2/22（月）
一般入試 2 社会人入試５ 編入学試験５	2/ 9（火）～ 2/22（月）	2/27（土）	3/ 4（金）	3/18（金）
一般入試 3 社会人入試６ 編入学試験６	3/ 1（火）～ 3/14（月）	3/16（水）	3/18（金）	3/23（水）
センター試験利用入試Ａ	1/ 7（木）～ 2/ 2（火）	個別試験なし	2/13（土）	2/29（月）
センター試験利用入試Ｂ	2/23（火）～ 3/14（月）		3/18（金）	3/23（水）

※願書提出：郵送は締切当日消印有効、持参は締切当日 17:00 まで (土曜は 12:30 まで)

区　分		エントリー・相談日	出願期間	入学審査日	合格発表日	手続締切
ＡＯ入試３	面談型	12/18(金)～ 2/16(火)	2/19(金)～ 3/14(月)	3/16(水)	3/18（金）	3/23(水)

ウェブサイト・SNSでも
大学の情報を配信しています！

大学案内・入学願書について

お電話(FAX可)、電子メール等でご請求ください。
種智院大学教務課入試担当　TEL 075-604-5600　FAX 075-604-5610　MAIL nyushi@shuchiin.ac.jp
http://www.shuchiin.ac.jp/

INFORMATION

種智院大学同窓会では、会員の皆様の個人情報保護に努めております。ただし今後とも従来どおり種智院大学・学校法人綜藝種智院から各種案内郵送の申し出があれば、会員の皆様へご案内文等を送付することがあります。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。